

青葉の森公園芸術文化ホール イベントレポート

EVENT REPORT
当ホール主催の公演・講座の雰囲気
をみなさまに発信する、
「サポーターライタース」の方による
レポートをお届けします。

第8回

青葉の森落語まつり 小朝・花緑二人会

出演
落語 春風亭 小朝 落語 柳家 花緑 漫才 ホンキートンク 落語 三遊亭 楽べえ

平成30年
10月6日
[土]
開演 14:00

第

8回目を迎えた青
葉の森落語まつり
は、当初「三遊亭
円楽と柳家花緑の二人会」と
いうことでしたが、円楽師匠
に初期の肺がんが見つかり手
術・入院の為、急遽、春風亭
小朝師匠の出演となりました。



5分前にお囃子が鳴り出す
と、いよいよ始まりというわく
わくした気分になります。

まず前座の三遊亭楽べえによ
る「手紙無筆」。昔は字が読
めない人が多く、なかには読め
ないのに知ったかぶりをする者
もいて・・・という噺。初々し
くすれていない話し方に好感が
もてました。

次に大きな拍手で迎えられ
たのが、ちよつと角の生えたよ
うな金髪がトレードマークの小
朝師匠。早速円楽師匠の容態
に触れ、手術は前日に無事終
わり今日は病院の中を歩いてい
るとのこと、客席からも安
堵の息がもれました。人気番
組「笑点」では円楽の腹黒ネ
タが定番になっているのを踏ま



え、「円楽さんは腹が黒いのは
わかってたけど、肺も黒かった
ことが今わかりましたねえ」と
続け、どつと笑いが起こりま
した。その後、いろいろな世間
話を淀みなく繰り出し、いつの
間にか本題「代書屋」へ。文
字の書けない者の代わりに履
歴書を書くのだが、要領を得
ない問答が続き・・・。

仲入りを挟んで、「ホンキ
ートンク」の漫才です。「僕ら
の世代は空前のバンドブームで
チッカーズの大ファンでした！」
と言って、「ギザギザハートの子
守歌」を歌い始めたらしいの間



にか、吉幾三の「俺ら東京さ
行くだ」になったり、「北斗の拳」
になったり。歌も卒なくこなし
芸達者なダンとトシの二人組で
した。



トリは花緑師匠。彼は人
間国宝柳家小さん師匠の孫で、
いわゆる「二世芸人」ですが、
それをネタに「噺家の二世は
お給金が安いのでクスの売人
も寄つて来ません」と笑いをと
ります。本題は「井戸の茶碗」。

千代田ト斎という浪人と、彼
から仏像を買う屑やの清兵衛、
清兵衛から仏像を買う細川家
の家臣高木佐々左衛門。登場
人物が皆善人という人情噺で
すが、ところどころで笑わせ
ます。自身がレギュラー出演
しているテレビ番組「開運！な
んでも鑑定団」のパロディも出

てきました。ト斎の娘と佐々
左衛門が夫婦となり皆の手元
にお金が入るといふハッピーエン
ド。とげとげしいことの多い昨
今、正直者が報われるという
何ともほつとする噺でした。

落語はひとり話芸では
ありますが、実際には観客と
のやり取りで成り立っています。
演者の息遣い、表情にじかに
接して聴くのは素晴らしい体
験です。
円楽師匠が早く元気になっ
て、また青葉の森落語まつりに
戻ってきて欲しいと思いました。
サポーター(ライターズ)伊藤正子